

中央防災会議

「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」

北海道ワーキンググループ

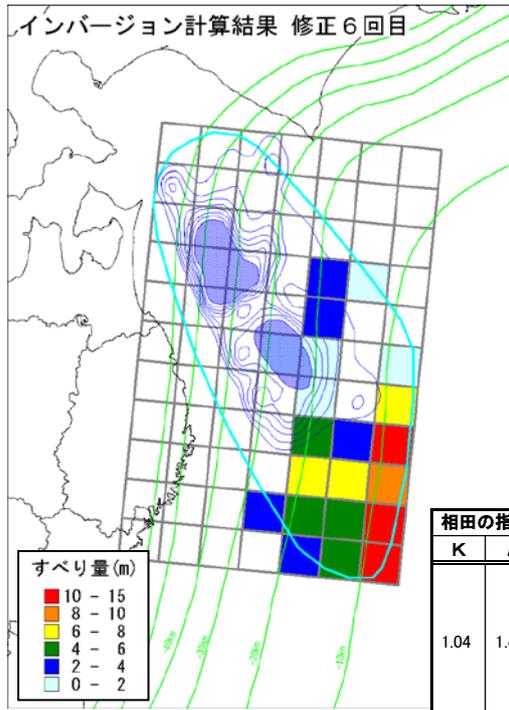
(第3回)

津波の高さのインバージョン解析

(図表集)

平成16年11月22日

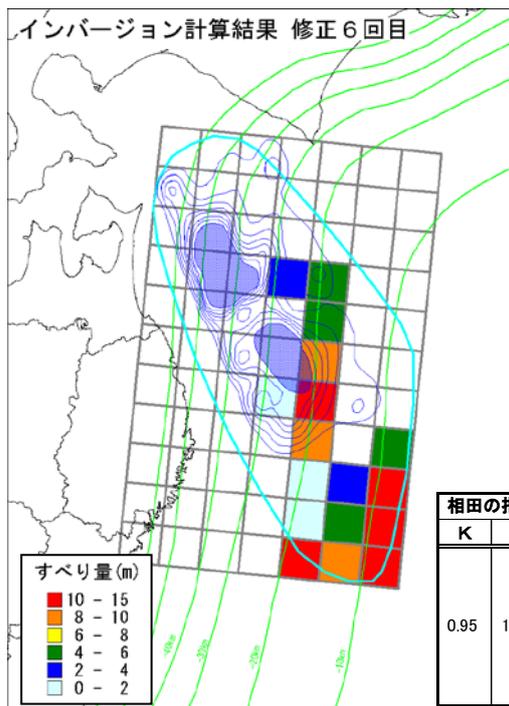
中央防災会議事務局



ケース1 (修正6回目)

(津波高データ：伊木および検潮記録、
初期すべり量 = 1 m)

相田の指標		深度	各セグメントのすべり量分布(m)										
K	κ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1.04	1.43	1	-	-	-	-	0.0	0.5	6.3	10.4	9.9	10.9	10.3
		2	-	-	-	1.8	0.0	0.0	0.0	4.0	7.6	4.5	6.0
		3	-	0.0	0.0	2.6	3.2	1.1	0.8	4.5	7.5	4.2	2.2
		4	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	2.5	-
		5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
		6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
		7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-



ケース2 (修正6回目)

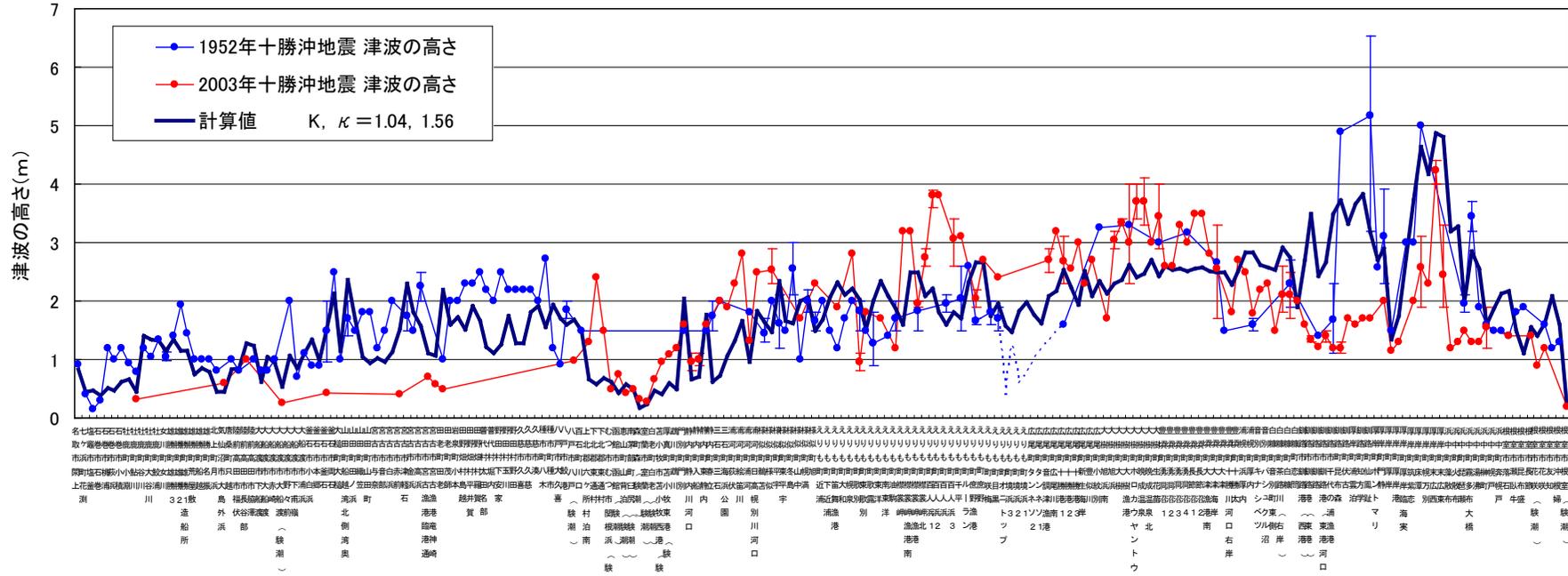
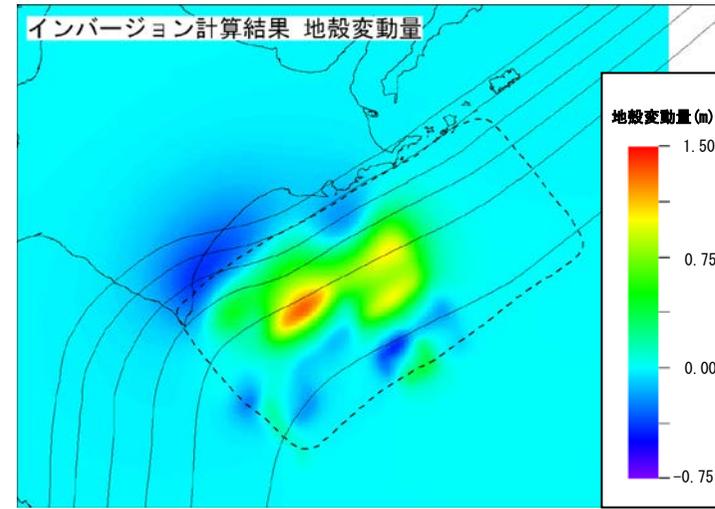
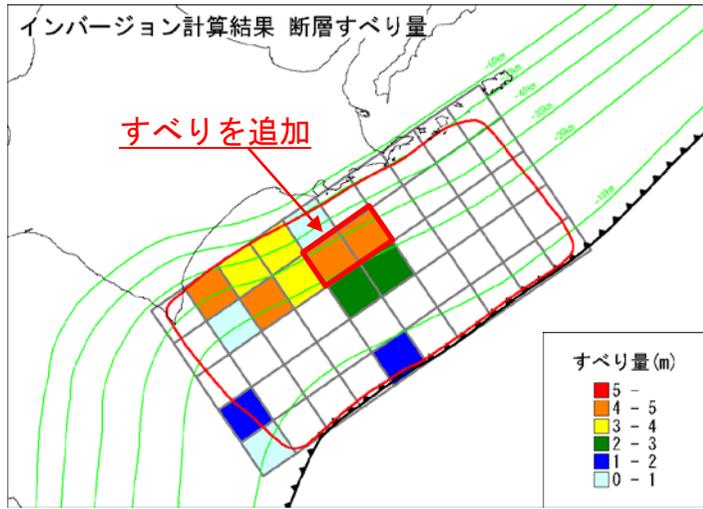
(津波高データ：4文献および検潮記録、
初期すべり量 = 1 m)

相田の指標		深度	各セグメントのすべり量分布(m)										
K	κ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
0.95	1.57	1	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	6.0	13.8	13.9	13.6
		2	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.3	8.6	-
		3	-	0.0	0.0	4.3	4.4	8.1	12.9	8.4	1.8	1.5	11.1
		4	-	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	-
		5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
		6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
		7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-

図2-7 インバージョン解析結果と1968年十勝沖地震のアスペリティ分布^{*}の比較
^{*}1968年十勝沖地震のアスペリティ分布は、永井ほか(2001)による。

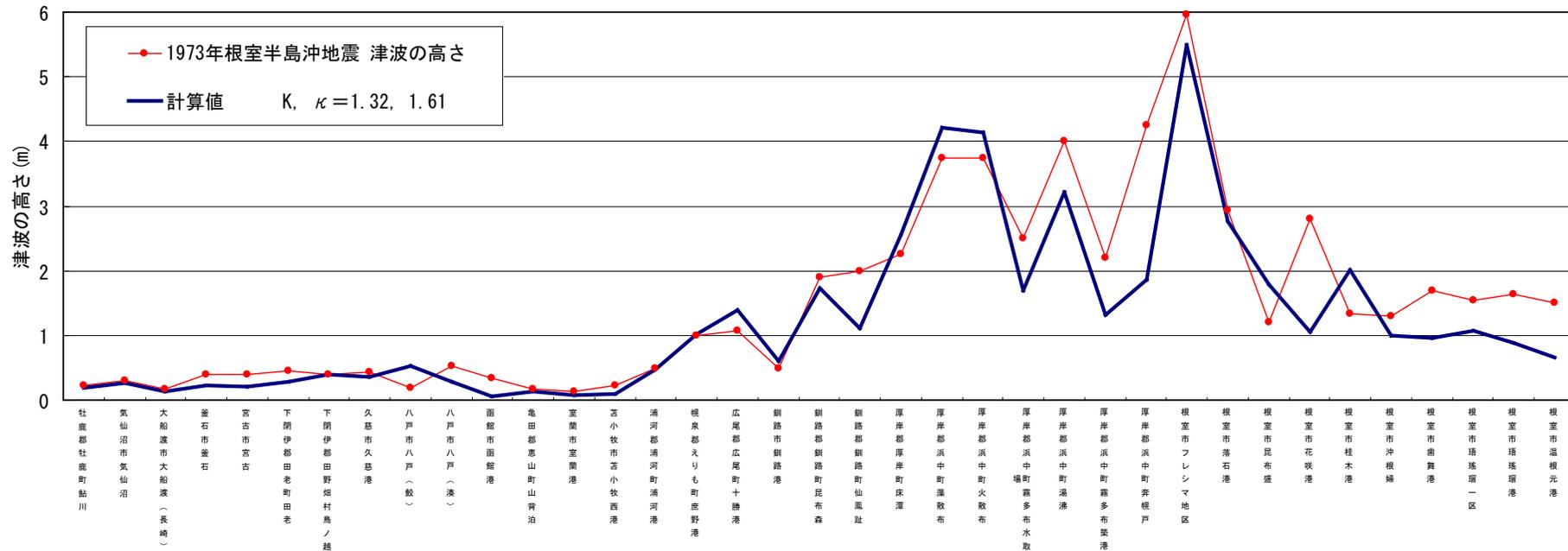
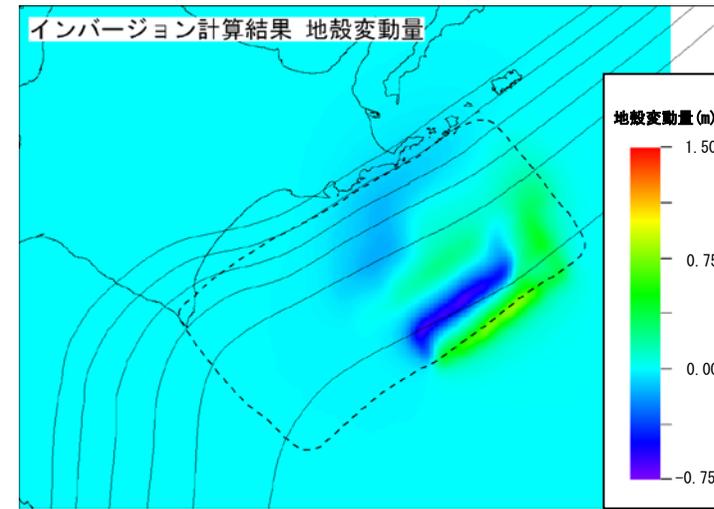
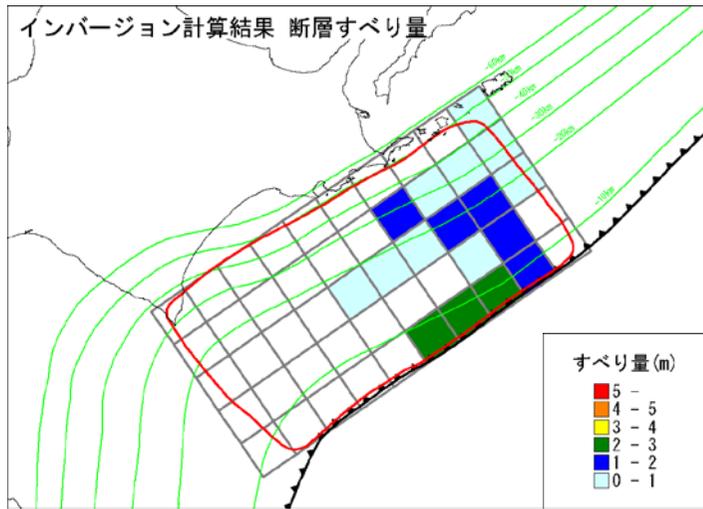
参考) 1952年+2003年十勝沖地震のインバージョン結果に厚岸沖のすべりを追加した場合 (50mメッシュ計算)

K=1.04、 $\kappa=1.56$



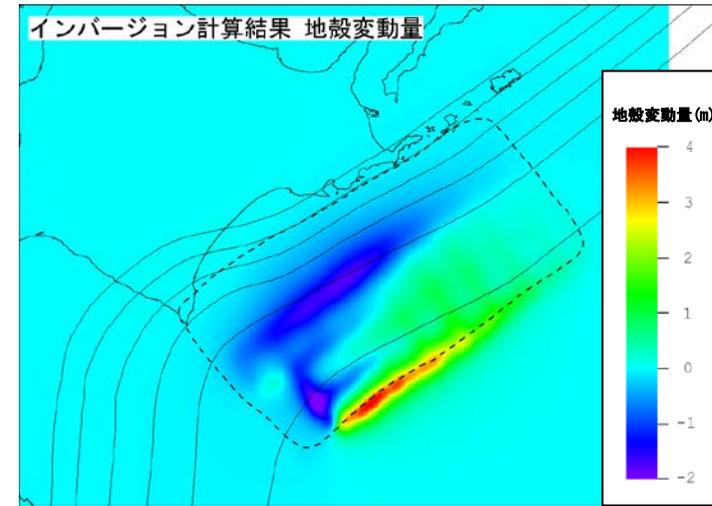
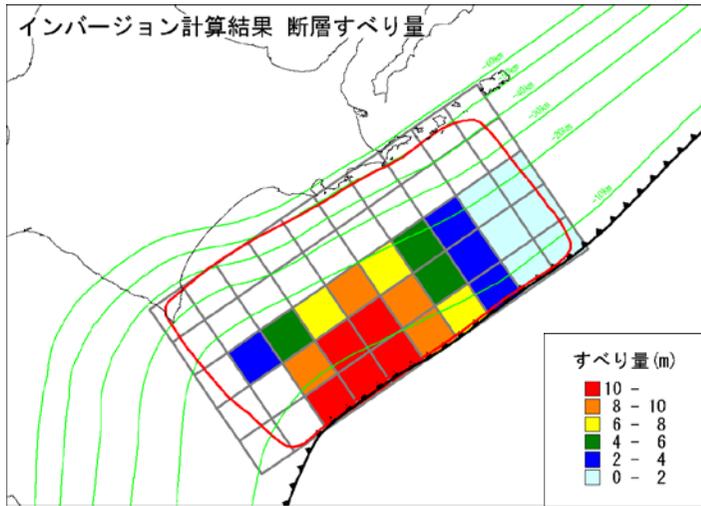
1973年根室半島沖地震 (50mメッシュ計算)

$K=1.32$ 、 $\kappa=1.61$



北海道 500 年に 1 度の巨大津波（アルマゲドン）（50mメッシュ計算）

$K=0.97$ 、 $\kappa=1.55$



北海道十勝～根室沿岸：平川ほか(2005)による巨大津波の高さ

